

小牧市内小中学校と医療機関の連携

医療機関；愛知県コロニー中央病院（幼児～小学生～）、愛知県精神医療センター（小学生～）、名古屋大学附属病院
精神科、小牧市内小児科 2（幼児～小学生）、小牧市内精神科 2（幼児～）、大口町の精神科クリニック 1（小
学生）、名古屋市内精神科クリニック 3～、布袋病院（小学校高学年～）、犬山病院（小学生～ 不定期）犬
山市内精神科クリニック 2（中学生～）など

当院での現状（2025 年 4 月～9 月）

対応地域；小牧市、春日井市、江南市、犬山市、一宮市、岩倉市、大口町、扶桑町、北名古屋市、清須市、
稲沢市、愛西市、可児市、各務原市、名古屋市北区・西区・千種区・守山区など
病名；自閉症スペクトラム、注意欠陥多動障害、チック障害、学習障害、不登校、適応障害、うつ病、全般性不安障害、
社交不安障害、パニック障害、吃音、構音障害、心的外傷後ストレス障害、統合失調症前駆期など

小牧市立小学校の受診状況

	味岡	米野	一色	本庄	小牧原	村中	小牧	小牧南	北里	小木	三洲	篠岡	光が丘	大城	桃ヶ丘
受診	16	9	8	8	6	5	4	4	3	2	2	2	2	1	1
検査	2	4	2	4	1	4	2	1	3	1		1			1

中学校の受診状況

	小牧	味岡	応時	岩崎	北里	桃陵	小牧西	光が丘
受診	10	6	6	5	4	3	3	2
検査	3	2	2	1	1			

問題点

他 星槎中学、名古屋中学、南山中学、滝中学など

・学校との連携

当院では検査結果を 30 分かけて説明、希望者に同意書取得の上、電話にて当院心理師より検査結果を説明し、
現状について情報共有、その後の診療に生かしている。学校・家族から依頼がある場合、母親など家族への診療、
限定的に学校関係者に来院いただき、医師と面談をしている。教務主任、担任など窓口はさまざま、時に学校側
から強いクレームを言われる場合、児相介入案件などもあり、学校との対応に苦慮している。

・心理検査のタイミング

当院での心理検査は小学校入学前の年長、成人までの期間で 0～2 回程度おこなっている。
心理検査は一度行くと同一検査では 1 年以上間隔をあける必要がある。医療機関受診中の検査をどうするか？

・学習障害の対応

合理的配慮などを念頭に検査を当院にて施行、学校に提出しているが、対応に繋がらない場合が増えている。

・支援学級在籍に際し、精神障害者保健福祉手帳の取得は必須か？

診断は方針・対応のための手掛かりであり、成人期まで確定的な診断がつかない、現実困っている方は多い。知的境
界域や正常知能でも困難がある場合、成人期以降の疾患の前駆期である場合もある。手帳申請の際は病名記載が必須だ
が、現実の対応は方向性をつけるための病名であることも多い。

文責；小牧駅西すずきクリニック 鈴木美穂